

『立命館産業社会論集』第54巻（第1～4号）総目次

第54巻第1号

遠藤保子教授退職記念号

退職記念

遠藤保子先生の定年ご退職を迎えるにあたって

竹内 謙彰 1

遠藤 保子教授 略歴と業績 3

「東京オリンピック・パラリンピックに関する研究」プロジェクトの中間報告

川口 晋一, 山下 高行 11

デイサービスというチチャーと島の記憶—現代社会に護られる伝統綱引き行事—

瀬戸 邦弘 29

南インドのマーシャルアーツ, カラリパヤットの実技授業に関する研究

高橋 京子 47

子どもの民俗舞踊体験—学校教育と地域社会の場を中心に—

弓削田 綾乃 67

論文

語りへの包摂・語りへの排除—ナラティブと心理主義化—

崎山 治男 77

1960年代という「偏向報道」攻撃の時代—「マスコミ月評」に見る言論圧力（下）—

根津 朝彦 91

第54巻第2号

論文

トランプ税制改革の歴史的意味—最高税率と所得格差を中心にして—

大野 威 1

アレント「私的領域」概念における「個人的なもの」の位相—全体主義論から道徳哲学論へ—

井上 達郎 15

市町村行政組織のスポーツ政策経営に向けた展望と課題（Ⅰ）

—市町村行政職員のスポーツ政策経営力量に関する仮説的概念モデルの構築—

岡村 誠, 中西 純司 37

ダブル・バインド理論の生活史分析とその認識論的意義

—ある精神疾患経験者の「語り」から見出される直線的認識の内発的契機をめぐって—

藤本 美貴 55

研究ノート

学童期に獲得される計画性とはいかなる能力か？—心理測定的知能と実践的能力の二つの視点から—

竹内 謙彰…………… 75

A. Giddens 後期近代論を人々の振舞の次元で考える—振舞のコードとしての authenticity について—

谷原 吏…………… 85

翻 訳

社会経済的变化とソウル市社会連帯経済政策の課題

李 寅載, 張 宗翼, 朴 鍾賢, 金 慧元 著, 朴 永均 翻訳, 山本 耕平 監訳…………… 99

調査報告

韓日における子ども・若者の生活困難状態への路上アウトリーチ

—ソウル「動く青少年センター EXIT」の支援実践から—

深谷 弘和, 岡部 茜, 松岡 江里奈, 山本 耕平, 丸山 里美 …… 123

2017年度 学部共同研究会一覧 …… 137

『立命館産業社会論集』第53巻（第1～4号）総目次…………… 138

学会員（教員）研究動向〔2017.4～2018.3〕…………… 141

第54巻第3号

論 文

体育実践記録にナラティブ・アプローチを読み取る—矢部英寿のバレーボール実践記録より—

石田 智巳 …… 1

環境的自叙伝が幼稚園保護者にもたらした「7つの機会」の再検証

永橋 爲介…………… 13

批判的实在論と“社会”概念〔1〕—社会学における間-専門性へと関わらせて—

木田 融男…………… 33

研究ノート

温暖化と個人化の関係 図像が教える世紀の転換

山口 歩…………… 53

資料紹介

日本の原子力発電に関わるデータについて

山口 歩…………… 67

学位論文要旨および審査要旨…………… 81

野村 実「地域公共交通の新展開によるモビリティ確保の方策—公共交通アクターに着目した社会学的研究—」

第54巻第4号

論 文

刑事収容施設における医療アクセス・質保証に向けて—医療政策・機構研究からの検討—

松田 亮三 …… 1

高度成長期の鋳物産業（上）	
永島 昂	19
Characteristics of Eye Movement in the Instruction Process of Teachers and the Problem-Solving Process of Students : The Case of Figure Problems	
岡本 尚子, 黒田 恭史	39
批判的实在論と“社会”概念 [2] —社会学における間-専門性へと関わらせて—	
木田 融男	51
子どもの「新生」を通じた「世界」の再生と持続—H・アレント「保守的」教育論の思想的含意—	
井上 達郎	67
学童期における重さの単位の発見に関する研究—重さの保存との関連に着目して—	
大西 真樹男	87
研究ノート	
限定された空間とメディアの社会史研究に向けて	
—刑務所と「新聞」「ラジオ」はどのような関係を結んできたのか—	
坂田 謙司	107
Debussy のカタチにまつわる 5 つの断章	
山口 歩	123